

事務事業名	コード	80600	施設維持管理費	予算科目	会計	款	項	目	所管課	下水道課	担当班	工務班
基本施策	21	良好な生活環境の形成		根拠法令	下水道法	2	1	1	事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業		
施策の展開	39	住み良い住環境の確保		戦略事業	186	公共下水道の整備						
施策の展開				戦略事業								

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない				
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 12 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	●生活排水(汚水)を一括処理する下水道施設(浄化センター)を24時間連続で運転しており、機械(送風機、攪拌機など)の維持管理を行う。 ●主に①旭駅周辺202haの約1,800世帯(事業所等を含む)から出る汚水を浄化センターで一括処理する。②処理に伴い発生する汚泥はセメントの原料としてリサイクルするため外部委託し処理する。汚水は機械(送風機、攪拌機など)により浄化・消毒したうえで、新川へ放流する。 ●平成25年度は、汚水処理施設の長寿命化計画の策定に向けた基礎調査を実施。				
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化		⑤ 事務事業に対する住民からの意見等		
・生活レベルの向上や住宅開発等に伴い、生活雑排水が増加し、河川の水質悪化の改善が課題となり、水質改善を図るため公共下水道を整備することとした。平成12年3月31日に公共下水道を供用開始し、浄化センターでは汚水の浄化処理を行っている。	・公共下水道の使用量の増加に伴い、処理水量も増加している。 ・処理水量の増加や施設の老朽化によって、維持管理費及び修繕費は増加している。		・公共下水道事業のコストは高いという意見がある。 ・浄化センター維持管理費のコスト縮減が求められている。		

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算) 単位:千円								
1.委託料(運転・汚泥処理)	87,868	運転業務委託料、汚泥等運搬処理業務委託料	千円	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
2.委託料(その他)	5,394	自家用電気工作物保守、清掃等委託料ほか	千円	6,067	5,590	5,378	5,394	7,734
3.修繕料	21,973	ポンプ等修繕費	千円	15,365	10,347	8,505	21,973	7,697
4.需用費(修繕料を除く)	16,428	消耗品、燃料費、光熱水費	千円	19,647	21,553	19,159	16,428	21,822
5.その他	5,428	役員費、工事請負費ほか	千円	781	2,345	1,766	5,428	16,436
② 特定財源の内訳(28年度の決算) 単位:千円			事業費計(A) 千円 123,470 126,632 122,529 137,091 153,336					
1.国庫支出金	0		千円	123,470	126,632	122,529	137,091	153,336
2.都道府県支出金	0		千円					
3.地方債	0		千円					
4.その他	95,041	下水道使用料	千円	98,269	93,345	92,263	95,041	102,375
			千円	25,201	33,287	30,266	42,050	50,961

前年度増減理由	汚泥脱水機の大規模修繕があったため
---------	-------------------

従事職員数	常時 1.5 人	最大 1.5 人	× 225 日 =	延べ 337.5 人
-------	----------	----------	-----------	------------

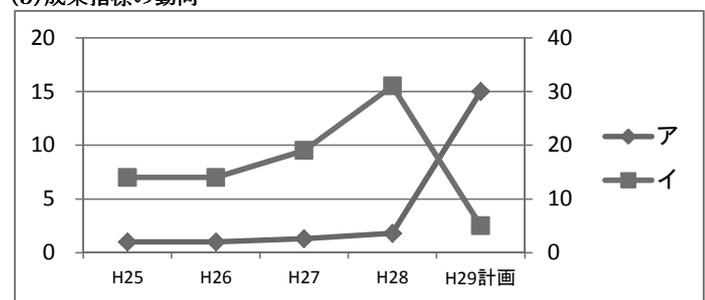
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	28年度実績(28年度に行った主な活動) ア 浄化センター設備の修繕(汚泥脱水機等の修繕) イ 汚水処理量 665,000m ³ /年、汚泥搬出量 547t/年		ア 設備等の修繕回数	回	8	9	9	13	10
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	対象意図 ・公共下水道供用区域(A=202ha)内の住民 ・汚水をすみやかに排除することで、良好な生活環境を得ることができる。 対象意図 ・浄化センター施設 ・適切に維持管理される。		ア 水質検査結果(浄化センターから新川へ放流する水のBOD)	mg/l	1.0	1.0	1.3	1.8	15.0
			イ 浄化センター施設の故障件数	件	14	14	19	31	5

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果			
施策貢献度	大きい	成果向上余地	コスト比率		
	普通	かなりある	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	小さい	ある程度ある	①	②	③
		ほとんどない	④⑤	⑥	(11)
			⑦⑧	⑨	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難											
② 成果の状況	成果指標 A	成果指標 I	数値減=成果向上	向上	横ばい	低下	比較	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		のタイプ	数値減=成果向上	向上	横ばい	低下	成果動向	25年度	26年度	27年度	28年度	29計画
③ 今年度取組事項	時期	内容		今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他()							
	H29.10	運転管理業務委託の長期継続契約(3年)		平成29年度以降	管路を含めた下水道ストックマネジメントにより、適切な維持管理・修繕及び長寿命化を進める。							